

**平成29年度 商店街における商標等を活用した  
地域活性化に向けた基礎調査：別冊**

**先進的な取り組みを行う商店街28事例**

2018年3月

九州経済産業局



# 目次

1. 先進的な取り組みを行う商店街マトリクス表	P 1
-------------------------	-----

## 2. 先進的な取り組みを行う各商店街

### i. 生活支援型（地域に根ざした住民生活を支える商店街）

総社商工会議所パンわーるど総社委員会【岡山県】 < i 地域資源活用 >	P 2
瓢箪山商店街【大阪府】 < ii 少子・高齢化 >	P 3
苅田商店街【福岡県】 < ii 少子・高齢化 >	P 4
基山モール商店街【佐賀県】 < iii 地域交流 >	P 5
宇宿商店街【鹿児島県】 < iii 地域交流 >	P 6
岩泉町うれいら商店街【岩手県】 < iv 新陳代謝 >	P 7
東大阪市若江岩田商業集積地【大阪府】 < iv 新陳代謝 >	P 8
沼垂テラス商店街【新潟県】 < v 構造改革 >	P 9
大阪市新世界市場【大阪府】 < v 構造改革 >	P 1 0
福岡市清川サンロード商店街【福岡県】 < vi 外国人対応 >	P 1 1

### ii. エリア価値向上型（まちの中心に立地し、そのまちの価値を高める商店街）

竹田商店街振興組合【大分県】 < i 地域資源活用 >	P 1 2
盛岡駅前商店街【岩手県】 < i 地域資源活用 >	P 1 3
北九州市魚町銀天街【福岡県】 < ii 少子・高齢化 >	P 1 4
させば四ヶ町商店街協同組合【長崎県】 < iii 地域交流 >	P 1 5
大分市府内五番街商店街【大分県】 < iv 新陳代謝 >	P 1 6
油津商店街【宮崎】 < v 構造改革 >	P 1 7
泉町二丁目商店街【茨城県】 < v 構造改革 >	P 1 8
中町商店街【長野県】 < vi 外国人対応 >	P 1 9
戸越銀座商店街【東京都】 < vi 外国人対応 >	P 2 0

### iii. 観光型（外需獲得型）（国内外の観光客をターゲットにした商店街）

京都錦市場商店街振興組合【京都府】 < i 地域資源活用 >	P 2 1
川口商店街【徳島県】 < i 地域資源活用 >	P 2 2
豊後高田市昭和の町【大分県】 < ii 少子・高齢化 >	P 2 3
松本市ナワテ通り【長野県】 < iii 地域交流 >	P 2 4
一般社団法人阿蘇門前町商店街振興協会【熊本】 < iv 新陳代謝 >	P 2 5
氷見市中央町商店街【富山県】 < iv 新陳代謝 >	P 2 6
沖縄市センター商店街振興組合【沖縄県】 < v 構造改革 >	P 2 7
豎町商店街【石川県】 < vi 外国人対応 >	P 2 8
千日前道具屋筋商店街【大阪府】 < vi 外国人対応 >	P 2 9

# 商店街の先進的取り組み事例のマトリクス表

		[A]商店街の類型		
		i. 生活支援型 (地域に根ざした住民生活を支える商店街)	ii. エリア価値向上型 (まちの中心に立地し、そのまちの価値を高める商店街)	iii. 観光型(外需獲得型) (国内外の観光客をターゲットにした商店街)
「B」 取 組 み の 観 点	i 地域資源活用	1. 総社商工会議所パンワー るど総社委員会【岡山県】	11. 竹田町商店街振興組合 【大分県】	20. 京都錦市場商店街 振興組合【京都府】
			12. 盛岡駅前商店街 【岩手県】	21. 川口商店街【徳島県】
	ii 少子・高齢化	2. 瓢箪山商店街【大阪府】	13. 北九州市魚町銀天街 【福岡県】	22. 豊後高田市昭和の町 【大分県】
		3. 苅田商店街【福岡県】		
	iii 地域交流	4. 基山モール商店街 【佐賀県】	14. させぼ四ヶ町商店街 協同組合長崎県	23. 松本市ナワテ通り 【長野県】
		5. 宇宿商店街【鹿児島県】		
	iv 新陳代謝	6. 岩泉町うれいら商店街 【岩手県】	15. 大分市府内五番街 商店街【大分県】	24. 一般社団法人阿蘇門前 町商店街振興協会【熊本】
		7. 東大阪市若江岩田商業 集積地【大阪府】		25. 氷見市中央町商店街 【富山県】
	v 構造改革	8. 沼垂テラス商店街 【新潟県】	16. 油津商店街【宮崎】	26. 沖縄市センター商店街 振興組合(中央パーク アベニュー)【沖縄県】
		9. 大阪市新世界市場 【大阪府】	17. 泉町二丁目商店街 【茨城県】	
	vi 外国人対応	10. 福岡市清川サンロード 商店街【福岡県】	18. 中町商店街【長野県】	27. 豎町商店街【石川県】
			19. 戸越銀座商店街 【東京都】	28. 千日前道具屋筋商店街 【大阪府】

# 総社商工会議所パンわーるど総社委員会

組織の類型：生活支援型

取組の観点：地域資源活用

岡山県総社市

## ポイント：地域資源のパンを活用した地域ブランドの確立

### 取組の背景

総社市は暮らしやすく生活コストも安いということで人気のある市である。しかし、近隣の岡山市や倉敷市に比べ「総社といえばこれ」というものが無かった。そこで地域にある資源として活用できそうなものを探していたところパンに辿り着いた。隣の岡山市はパンの消費量が全国第3位。その岡山市に人口換算で匹敵するパン店が市内にはあった。また大手製パン工場も市内にあり県下の生産量となっていた。さらに創業90年の市民なら誰もが知る、パン店「トングウ」や人気のある独創的なパン店が増えつつあることから、パンを活用した取組を行うこととなった。

### 取組の内容

活動が始まったのは2015年9月。総社商工会議所が中心になって地元で伝承される古代米「赤米」とブドウやモモなどの各地のフルーツ・ジュースと白あんを使って店舗を横断したパンづくりを企画。ネーミングも「フルーツシューケーキ」とした。2016年11月には12店がこのフルーツパンを作って発売記念のイベント「総社パンマルシェ」を開催した。17年3月には第2弾としてイチゴを使った企画パン作りを実施。7月にはアイスクリームと組み合わせたパンを企画した。11月にはプレミアム総社パンマルシェを開催と、立て続けにパンのまちのブランド化イベントを実施した。

### 取組の効果

積極的に販促活動・広報活動を行った結果、地域活性化と店舗支援としての成果も徐々に出てきており、市内のみならず市外からの来客が増え、この事業の参加店舗12店（そのうち小規模事業者8店）における売上が対前年比で平均40%増、新規顧客が30%増となる成果があった。また新規投資額など直接的な経済効果が1年間で約1億円あり、関連した「経済波及効果」も加算すると、さらに大きな効果があったと考えられる。また、今まで見られなかった店舗間の意見交換による交流や材料の共同購入も見られるようになり、より総社市が「パンわーるど」化しつつある。

#### 基本データ

所在地：岡山県総社市

店舗数：9店舗

関連URL：

<http://www.kibiji.ne.jp/so-japan/>

#### 組織概要

全国ブランド化を目指す事業の取り組みに対し、アドバイス等を行うことを目的として、2015年9月に当商工会議所特別委員会として組織された。目的は大きく2つで、事業を効果的に推進するために具体的な検討を行うこと、また事業に関連するアイデア等の意見について協議することである。構成員は、各方面から専門家5名、行政・経済団体などから委員8名で構成される。



キーパーソン  
総社商工会議所  
指導課長  
平田 洋之 氏

驚くほどの事業成果が見えて、苦労は感じませんでした。とはいえ、各パン店のオーナーは職人気質で、企画に沿った商品造りは難航しました。しかし、事業が進むにつれ事業者同士の交流が活発になり、結束力が生まれました。それと同時に、「負けたくない、よそと同じことはしたくない。」という職人魂に火が付き、事業成功の光が見えました。1年が経過しやっと点としても店舗が見え始めました。また、地域に90年の老舗があるように、2代、3代と続いていく土壌を作るには、始まったばかり。継続的に施策を講じていく必要性を心しています。

# 瓢箪山商店街

大阪府東大阪市

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：少子高齢化

ポイント：商店主が220店超の店舗を描いたイラストマップ

## 取組の背景

瓢箪山地域の商店街利用者は大半が高齢者、シニア世代となっている。そのため個店ごとに高齢者に向けた商品・サービスを実施していたが、PRが十分にできていなかった。また高齢者になるほど決まったお店しか使わなくなることが課題としてあった。その対策としてイナリ前商店街振興組合と瓢箪山駅前東商店会は2011年ごろから、イラストマップ入りのチラシを制作していた。そこに瓢箪山駅北側の瓢箪山中央商店街振興組合も加わることで、シニア世代向けの商品・サービス提供のPRを強化することを目的にイラストマップ入りのチラシを作成・配布することとなった。

## 取組の内容

マップの作成にあたって3商店街合同で「瓢箪山高齢者に優しい商店街づくり実行委員会」を結成。2014年から市の「高齢者に優しい商店街作り事業補助金」を活用し、新しいマップ制作を開始した。各店舗でアンケート調査を行い、高齢者向けの商品やサービスを提供している店を明らかにし、高齢者に優しい商品・サービスの紹介や高齢者が利用する施設などをマップに追加。高齢者が訪れやすい、買い物を楽しめるよう工夫を凝らした。マップはスーパーの買い物袋に同封されるほか、近隣地域へは市政だよりと共に配布を行った。

## 取組の効果

市政だよりとスーパーの買い物袋に同封し配布を行ったため、商店街近隣に住んでいる多くの高齢者にマップが行き渡った。マップを見た高齢者から、「今まで漠然と歩いていた商店街に、今まで知らなかった高齢者向けのサービスが数多く行われていることを新たに知れた」という声が寄せられている。

またこのマップ作成にあたってそれまでは一元的に管理されていなかった各店舗の情報が一元化された。これによって今後商店街で新たな取組を行う際に参照できるデータベースとして活用することが出来るようになった。

### 基本データ

所在地：大阪府東大阪市本町

会員数：220名

店舗数：220店舗

関連URL：<http://3610.jp/>

<http://blog.livedoor.jp/jinjamall/>

### 商店街概要

東大阪市の東に位置し、近鉄瓢箪山駅を中心に南北にまたがる商店街で、2つの振興組合、1つの商店会からなる。また国道にアーケードを設置した日本初の商店街でもある。宅配事業や一店逸品活動、商学連携等、様々な事業を実施。平成21年度には経済産業省中小企業庁が選定する「新・がんばる商店街77選」に選出された。



キーパーソン  
趣味の店たからや  
店主  
大東 聖弘 氏

100店舗以上に足を運び、イラストを描く際の参考写真を撮り、各店舗のサービスを調べるために1軒ずつ聞き取り調査を実施しました。大変な作業ではありましたがおかげで高齢者の方にどの店舗がどのようなサービスを行っているのかが詳細に把握することができました。今後はお年寄りに優しい商店街であるとともに、10年後の子育て家族が商店街に来ていただけるか、また商店街に親しんでいただけるかが今後の課題です。イラストマップの作成にあたって一元的に各店舗の情報を管理できるようになったので今後の活動に活かしていきたいです。

# 苅田町商店街

福岡県京都郡

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：少子高齢化

ポイント：学校教育の一環に取り込み実施するリアルな商業体験

## 取組の背景

近隣の市町村や苅田町内に大型店の進出が進み、年々商店街の人通りが減少していた。そうした状況を改善すべく、子供たちとの交流を通して新規客の開拓や来街者の増加等商店街の活性化を図る目的で、町内の商業中心地で子どもを対象としたイベントを行うことになった。そして、2003年苅田町の第3セクターである株式会社ピュアタウン苅田が苅田町商店街や行政、教育委員会などの協力を得てキッズ・マーケットを開始した。この商業体験では当初中学生を対象としていたが現在町内4つの小学校が参加している。

## 取組の内容

2003年より苅田町内の小学生主に4、5年生を対象に、苅田商店街にて、販売から決算までの一連の流れを本物のお金を用いて体験することで子供たちがリアルな商業体験を行う取り組みを実施している。商店街のお店から仕入を行うとともに、販売のコツや陳列の仕方、チラシの書き方等を実際の店舗から学んでいる。

この取り組みから子供たちは流通の仕組みやお金の大切さを学ぶとともに、子どもたちの自主性・創造力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を伸ばし、「生きる力」を育むことを目的としている。

## 取組の効果

地元の商店街で開催することで、普段訪れることが少ない商店街を子ども達に認識してもらえると共に、地域とのつながりを実感してもらうことが出来ている。生徒たちはキッズ・マーケットでの体験を通じ、身近な店がどのような販売の工夫を行っているか高い関心を持つと共に、働いてお金を得ることの大変さに気づくことが多い。

また、毎年年度末に参加校の担当教師を集めての意見交換会では「貴重な体験であった」、「友達と協力してものごとをやり遂げることの喜びを感じていた」、「お金を稼ぐことの難しさを感じる事ができた」、「人との関わり大切さを実感した」、「子供たちの普段とは違う姿を見ることができた」などの意見があり、高い評価を得ている。

### 基本データ

所在地：福岡県京都郡苅田町

会員数：19名

店舗数：44店舗

### 商店街概要

近隣の市町村や苅田町内に大型店の進出が進み、年々商店街の人通りが減少していくなか、毎年夏に「土曜夜市」、冬に「福まき大会」が開催されている。これらのイベントは、広く町民の方に商店街を認識してもらい、実際に訪れてもらうことで、商店街の賑わいを継続的に創出することを目的として開催されている。



# 基山モール商店街

佐賀県三養基郡

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：地域交流

ポイント：商店街の中に保育園 空き店舗をさまざまな用途に利用

## 取組の背景

当商店街では近年、店主の高齢化や後継者不足、大型量販店の進出などで廃業が相次いでおり、14年2月に「トライアル基山店」が商店街から撤退したことにより、「シャッター商店街」の様相がより濃くなっていった。

同年7月19日、商店街の中に誰もが気軽に使える居場所を作り、街のにぎわいにつなげようとの思いから、空き店舗のひとつを「まちなか公民館」と名付けて無料開放。この「まちなか公民館」をきっかけに商店街の空き店舗を小売り店舗以外の用途で活用し始めた。そうしたなかで保育園の移転先として商店街の空き店舗が候補に挙がった。

## 取組の内容

商店街の一角に2016年4月に「ちびはる保育園」が移転。同園は小規模保育施設で、町内外から0～5歳児まで約35人が通っている。

同年11月、町の事業の一環で商店街の通路の植栽が撤去されたことにより、商店街全体が子供たちの遊び場になった。その後も園児と商店街との交流が進められ、2016年7月の「きのくに祭り」では、園児たちが商店街の一員として山車を引いた。また、2017年には今まで他所で行われていた町内園児による消防パレードが商店街で行われたり、町内の全園児年長によるグリーンロード（緑の歩道の事）お絵かき大会を催した。

## 取組の効果

子どもの笑い声が響く商店街は、商店街としては来街者にも安全・安心なイメージを持ってもらえ、保育園としては、先生や店主の目も届き、お互いに良い面が多い。さらに、保育園の保護者には、全員に商店街内で特典を受けられるカードを配布。新たな顧客として呼び込む取り組みも徐々に進めている。

保育園開設以降、子供向けの施設の他に、一般ディサービスや就労支援施設も入り、2018年6月には病院等もオープン予定となっている。単なる商業施設から、教育・福祉・医療と多世代が集うサービスの場へと新しい商店街のカタチを作りつつある。

### 基本データ

所在地：佐賀県三養基郡基山町

会員数：27名

店舗数：28店舗

関連URL：<http://kiyamamallgai.main.jp/>

### 商店街概要

JR鹿児島本線 基山駅から徒歩1分にある駅前商店街。1982年設立。遊歩道や広場を備えた「モール型」商店街の先駆けとして全国的に注目された。2014年に「トライアル基山店」閉店をきっかけに商店街の空き店舗を小売店舗以外の用途での使用を始めた。



# 宇宿商店街

鹿児島県鹿児島市

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：地域交流

ポイント：PDCAサイクルに基づいた5つの柱で商店街を元気に

## 取組の背景

商店街では相次ぐ大型量販店の進出、少子高齢化、後継者不足、子育て支援など多くの課題を抱えていた。状況を改善するために事業を実施しても、その管理運営や効果測定の手法も確立されておらず、改善に結びついていない状況だった。

そこで当商店街を青年部など若手へバトンタッチをするために現在取り組んでいる事業の見える化を図り、課題整理を行うためPDCA表を使って現状分析と将来予測を行うこととなった。

## 取組の内容

商店街が目指す明確な像を役員で検討した結果「鹿児島でいちばん住みたい街No.1になる」という目標を設定した。その目標を達成するために行う取り組みが効果的かを測定するためのPDCAサイクルを作成。目標（Plan）として、①高齢者の見守りのまちづくり、②子育て支援、③安心・安全のまちづくり、④エコ環境・環境美化のまちづくり、⑤交流・参加・協働のまちづくりの5つを事業の柱として立案。これらの目標を達成するため、「宇宿タウンガイド」の発行、エコステーションの設置、多世代が参加できるイベントなど、全21事業を実施（Do）。実施した事業はアンケートや統計データを活用して成果を分析し（Check）、分析結果をもとに今後の事業改善や新たな取組へと結びつけることとした（Action）。

## 取組の効果

取り組みの効果として商圈人口が平成23年度が31,819人に対し平成28年度が33,060人と1,241人増えている。天候にも左右されるが事業実施時は通行量60%増、店舗も売上30%増を示した店舗もあった。

また、次世代は年齢層を超えた定住人口増を目指し地元の鹿屋体育大学と協働で「貯筋運動」を実施し、「貯筋額」に応じて商品券に交換するなど高齢者の生活支援を含む、個店の売上増にチャレンジしている。また、青年部が街づくりの主役になる2050年を見据えた商店街構想を策定中で「福祉のまちづくり」を加え次の事業に取り掛かる準備を現在行っている。

## 基本データ

所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿  
 会員数：30名  
 店舗数：30店舗  
 関連URL：<http://usuki.or.jp/>

## 商店街概要

当商店街は、鹿児島市の南部地区に位置する商店街の活性化を図る目的で、同地区の任意の3通り会の構成員により平成4年12月に設立した。近隣の工業団地へ大型量販店が進出し、この10年間で周辺環境が大きく変わったが、設立以来地域密着型の安心安全で環境に優しい街づくりを行い、地域活性化に取り組んできた。商店街の地区内にはJR宇宿線と市電脇田駅の2つの駅があり、来街者は自動車を持たない60歳以上の高齢者が多くを占めている。



キーパーソン  
 宇宿商店街振興組合  
 理事長  
 河井 達志 氏

組合が設立されてから地域の名前「宇宿（うすき）」が知れるようになり地域の方に喜んでいただいています。宇宿は平成4年に結成されましたが平成8年から区画整理が始まり、人口が減り、周辺には量販店が数多く出店し始めました。そのため、それまで「商店街の活性化」を念頭に事業を進めていましたが、それを捨てて、「地域や人が元気になるために商店街ができることをする」という考え方に方針を変更しました。人の元気が街を元気にするのは、子供たちの未来の為「人が好き、地域が好き」の気持ちを持って青年部へバトンタッチしていきたいです。

ポイント：商店街の次の世代が「のっとり計画」でアイデア発信

## 取組の背景

15年程前までは40店舗ほどあった商店街は高齢化の影響もあり、30店舗に減少。そこに、現在菓子店「志たあめや」に勤める橋本充司氏が平成24年に岩手復興応援隊の一期生として岩泉の観光企画に携わるようになった。それから数年が経ち、商店街内の店主の子供世代が偶然にも次々と戻ってきた。しかし、帰ってきた者同士の繋がりがなく、その機会も無かったため交流の機会が必要だと橋本氏は感じていた。また外からの刺激も少なく、自らアクションを起こさなければ何も起こらない場所で商店街の後継者たちで何かできることはないかとの問題意識から橋本氏が「のっとり計画」を計画。「のっとり計画」との命名は地理的なハンディキャップのある当商店街では尖った企画をしなければ誘客は難しいという橋本氏の考えから着想。

## 取組の内容

「のっとり計画」とは商店の後継者たち考案の商品、サービスを親の店の一角にて販売、実施するというもの。2016年2月～3月に開催された第1回目では、12店舗が次々と自由にユニークな発想でのっとりを実施。各店舗でのっとり商品を企画・販売。2017年4月22日、第2回目となる「のっとり計画」がスタート。老舗菓子店では商品のかりんとうの模様をあしらった麻製のバッグを販売したり、出演する人、物、お店、オール岩泉の女性誌風岩泉紹介雑誌を制作するなどオリジナリティのある企画を実施。また参加店舗数は変わらないものの、前回の12企画から15企画へと企画数は増加した。

## 取組の効果

「のっとり計画」に参加した後継者の中には他のイベントに呼ばれるようになった人もおり、当商店街内の店舗同士の繋がりだけではなく、他の地域との繋がりも形成されつつある。また数か月間に及ぶイベントを実施した体験から商店街の次世代を担う後継者としての意識が以前より強くなり、新たなことに取り組む後継者も。また当イベント以外にも商店街で代わる代わるイベントを実施していることから、外部からは「よく何か催しをしている商店街」との認識がもたれるようになり、各種メディアへの露出の機会も増加した。

### 基本データ

所在地：岩手県岩泉市  
会員数：30名  
店舗数：30店舗  
関連URL：  
<http://www.protoscience.co.jp/iwaizumi/>

### 商店街概要

日本三大鍾乳洞のひとつ龍泉洞のある町、岩手県岩泉町。岩泉町は江戸時代から小本街道に沿って発展したまちで、そのほど近くにレトロなうれいら商店街がある。うれいらとはアイヌ語で「霧のかかる峰」を意味し、まちのシンボルでもある宇霊羅山にちなんでいる。商店街は、軒の低い土蔵や商家などが並ぶ落ち着いた雰囲気である。



キーパーソン  
志たあめや  
橋本 充司 氏

他の商店街の方に「うちではこんなふざけた企画許してもらえない」と良い意味で言われたことがあります。それまで気づきませんでした。こんな企画を承諾してくれた商店街の重鎮の方たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。感謝しつつも、次回も「ふざけた（尖った）企画」というコンセプトを変えることはありません。お金をかければいいモノ（企画）ができあがるなんて事ではないという考えも曲げません。また、「橋本さんまた何か変な企画しようよ」と言われる日が来るまで、自分の今いる店で真面目に変な企画を続けて牙を研いでおこうと思います。

# 東大阪市若江岩田商業集積地

大阪府東大阪市

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：新陳代謝

ポイント：商店街の枠を超え、多彩なプロジェクトで地域を活性化

## 取組の背景

当商店街では街の衰退や店主の高齢化から、かつては5つの商店街だったものが2つの組織まで減少し、その組織の維持も難しい状況となった。

2014年7月、地域の若手商業者5名が街の活性化や発展のため活動してくれる人材の発掘を目指し、「若江岩田きらりプロジェクト」を立ち上げた。現在に至るまで月1回のペースで、子育て世代向けのイベントの実施を計画。また、地元大学との提携イベント・商品開発なども行うこととなった。

## 取組の内容

子育て支援を行っている「NPO法人きらりっこ」と協力し、店主達が出張して教える親子体験教室「きらり☆えがお塾」や、子供達に職業体験や買い物体験等を楽しんでもらう「若江岩田きらり商店街～ぼくも、わたしもお店屋さん～」など、子育て世代に向けたイベントを数多く開催している。

2017年11月には初の試みである「月亭方正落語会」を開催。若い世代が中心となって地域活性に取り組んでいる当プロジェクトと、落語の裾野を広げたい月亭方正氏の考えがマッチングし、実現した。

## 取組の効果

えがお塾は月1回のペースで開催されており、予約が受付開始日にすべて埋まることもあるほど好評を得ている。2016年に行った「～ぼくも、わたしもお店屋さん～」は学習塾や近隣大学の応援を受け、最終的に約600人もの親子が詰めかけるなど、人気イベントとなった。

このように商店主がグループで活動を行うことで、各店舗の既存顧客がグループに加盟する別店舗の存在や魅力に気づくきっかけとなり、それぞれの店舗における新たな顧客の発掘・獲得や、地域の教育機関とのつながりに発展している。

2018年も商店街の中だけに留まらず、市の講演会に参加するなど、活動の幅をさらに拡大している。

### 基本データ

所在地：大阪府東大阪市若江岩田

会員数：68名

店舗数：85店舗

関連URL：

<https://www.facebook.com/kirari.suji/>

### 商店街概要

当地区では街の衰退や店主の高齢化から、かつては5つの商店街が2つの組織まで減少。このままでは残りの組織の維持も難しい状況になったため、組織に固執せずに地域の各種団体と協力しながら、若江岩田商業集積地の若手商業者が集まり活動を行っている。



# 沼垂テラス商店街

新潟県新潟市中央区

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：構造改革

ポイント：シャッター通りからにぎわうレトロな商店街誕生へ

## 取組の背景

当商店街の場所にあった「沼垂市場」は、当初あった堀を埋め立てられて作られた。当時は「市（いち）」と言われる店舗が立ち並び、近くに大きな工場など勤務地が多かったこともあり、買い物をしたり飲食をしたりする人々で溢れ、大変活気に満ちていた。しかし近年では、高齢化、郊外化が進み、市場通りの店舗も数が減り、数店舗を残し、シャッター通りとなっていた。

2014年春、シャッター通りとなっていたこの地域の再生と活性化を目標に、「株式会社 テラスオフィス」を設立し、長屋店舗一帯を引き受け、管理・運営を行うこととなった。

## 取組の内容

2010年の佐渡生乳ソフトクリームと手作りデリの店「Ruruck Kitchen」のオープンを皮切りに、家具とコーヒーの店「ISANA」、陶芸工房「青人窯」と店舗が増えたことで、「沼垂市場通り」に注目が集まった。若者を中心に問合せが相次ぎ、2015年通りの全店舗がオープンしたタイミングで「沼垂市場通り」から「沼垂テラス商店街」に改名。元々営業を続けている八百屋・雑貨屋等既存店4店舗と、先駆的な役割をした先の3店舗に加え、このまちに魅力を見出した若者たちのこだわりの店舗、全28店舗が集まる新しい商店街が誕生した。

## 取組の効果

全28店舗が埋まったことから新たに周辺の空き家を活用したゲストハウスなどのサテライト店を3店舗オープン。宿泊施設ができたことで県外から、また海外から訪れる人が増え沼垂テラス及び周辺店舗を利用するようになった。

また、ゲストハウスの新設にあたり新たな雇用が生まれるなど、経済面ではプラスの効果が表れている。

ゲストハウスや商店街などで各種イベントや店舗同士でのコラボを行っており、沼垂テラス周辺エリアの認知度が向上しており、「沼垂テラス」という新たな地域ブランドが形成され、そのブランド力の効果が表れつつある。

### 基本データ

所在地：新潟県新潟市中央区沼垂東  
 会員数：  
 店舗数：28店舗  
 関連URL：<http://nuttari.jp>

### 商店街概要

市場として使われていた長屋を改装し、昭和レトロな町並みを残しつつ、新しく生まれ変わった商店街。2010年から少しずつお店がオープンし、2014年に店舗全体を管理する事務所を開設。2015年春、旧沼垂市場のすべての長屋が店舗として開業。2017年度グッドデザイン賞を受賞。



キーパーソン  
 株式会社テラスオフィス  
 代表 田村 寛 氏  
 高岡 はつえ 氏

「沼垂の歴史・文化・景観を活かして、ここでしか出会えないモノ・ヒト・空間を提供する」というコンセプトを掲げ、「新しい商店街」を誕生させる手探りの再開発プロジェクトでした。しかし地域の理解と協力、各店主の努力もあり、2018年春で丸3年を迎えることができました。今では長屋の商店街だけに留まらず、その周囲にサテライト店ができたことでさらに認知度もアップし、県内外からの来街者が増えています。今後は商店街のみならず、周囲にも活気や経済的効果を波及させることと、空き家対策に着手することで移住者・定住者の促進を目指します。

ポイント：商店街らしさを今風にアレンジし、商店街に若者を呼び込む

## 取組の背景

(株)トリックデザインの取締役の森田純多氏はここ数年大阪でも商店街に空き店舗が増えてきて、商店街が廃れていきつつある現状を何とかできないかと考えていた。会社としては若者向けのおもしろいイベントをいくつも手掛けてきていたため、そのノウハウを活用して商店街の活性化に寄与できないかと思い、「シャッター街で遊ぼう」をコンセプトにした「Wマーケット」を企画する。その「Wマーケット」を開催できる商店街はないかといくつかの商店街に話をしたところ、新世界市場の理事長に新世界市場で実施していいということになり、2017年7月に最初の「Wマーケット」を開催することになった。

## 取組の内容

新世界市場の空き店舗になっているシャッター街を活用して、「シャッター街で遊ぼう」をコンセプトにした値札のない週末マーケット「Wマーケット」を2017年7月から開催。出店者は空き店舗の前にお店を出して、商店街に軒を連ねたマーケットで、値札がないため店主とお客さんとの交流が自然と生まれるようにしている。ポスターやホームページのデザインにこだわり、得意とするSNSでの集客を行った。また当日はSNSで投稿してもらえるようにシャッター通りを提灯で飾るなどの工夫も行っている。

## 取組の効果

第1回は初開催にも関わらず、42店舗の出店、来場者は2700名を超えた。イベントの様子は多くのメディアに取り上げられ、商店街のPRにつながった。イベント時には、日頃は商店街にこない若者や外国人が多数訪れて、新しい顧客層に開拓にも成功。商店街の通常営業を行っている店舗も当時は売上が増加した。「Wマーケット」は定期開催を目指して随時開催していたが、2018年3月4日より定期開催になることが決定した。イベントの狙いの1つでもあるイベント出店から空き店舗への店舗出店に向けて「Wマーケット」の定期開催を行っていく。

### 基本データ

所在地：大阪府大阪市中央区

会員数：32名

店舗数：15店舗

関連URL：<https://www.doguyasuji.or.jp/>

### 商店街概要

2013年で100周年を迎えた大阪・新世界の商店街。戦前に建てられた古い長屋が連なる珍しいスタイルの商店街で、近くには観光名所の通天閣もある。しかし、大型スーパーの進出や世代交代などにより、約50店ある店舗スペースのうち、約半数の店が閉店し、空き店舗が増えている。



キーパーソン

(株)トリックデザイン

取締役 森田 純多 氏

自分自身が考える大阪の商店街の良さやらしさを何とかのこしていけないかと思っていました。「Wマーケット」を思いついてから、開催させてもらう商店街を探すところで苦労しましたが、新世界市場の理事長に「うちで開催してもらっていい」と許可をいただけて昨年ようやく開催することができました。イベントも盛況で、新世界市場の商店街の集客やPRに貢献できていますし、当初の狙い通りイベント出店から店舗開業につながっているお店も出てきています。今後は毎週末開催して、さらなる商店街のにぎわいづくりと活性化につなげていきたいです。

# 福岡市清川サンロード商店街

福岡県福岡市清川

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：外国人対応

ポイント：商店街での自転車通行、4か国語で「押し歩き」を呼びかけ

## 取組の背景

同商店街は2つの大通りに挟まれている場所に位置し、多くの自転車が商店街内を通行している。そのためスピードを出して自転車が走行するなど、交通違反やマナーの悪い走行が目立ち、市民から取り締まりを望む意見が出されていた。「自転車押し歩き」区域や、「一方通行」、「正午から午後8時まで車両通行止め」区域を取り決め、区などが規則の順守を求めている。それに加えて組合内も対策を検討した結果、自転車による来街者の中に、最近では外国人も増えていることもあり、市の「商店街活力アップ支援事業」を活用して、「四カ国語による自転車安全走行のアナウンス」を始めることとなった。

## 取組の内容

商店街内の複数ヶ所に各種交通ルール順守の表示を行っている。「一方通行道路！自転車は押して歩いて下さい 中央区役所」（日本語のみ）と書かれた反射電柱幕（縦100センチ、横40センチ）を街内の四カ所に、「歩いて通行」（日本語のみ）などと描かれた「路面反射ストップマーク」（縦60センチ、横40センチ）を街内の三カ所に設置している。

また放送では「自転車は車両の仲間です。自転車をご利用の方は、安全のため、押し歩きをお願いいたします」などと日本語でアナウンス。その後、英語、中国語、韓国語でも同じ内容を流している。1回約1分30秒程度で、営業時間中、30分おきに毎日放送している。

## 取組の効果

市の自転車の安全利用に関する条例に基づいて、毎月8の日（自転車安全利用の日）にさまざまな啓発活動を行っている。商店街を利用する一般市民からも「放送や幕、路面マークがあることによって、規則に反して自転車で通行する人に対して注意しやすくなった」との感想が寄せられている。また、音声を流すことによって、自主的に自転車から降りる人の姿もあり、看板だけでは伝わりにくかったルールの周知には、非常に役立っている。

### 基本データ

所在地：福岡県福岡市清川

店舗数：20店舗

関連URL：

### 商店街概要

当商店街は福岡市の中心商業地である天神地区から1.4kmの至近距離である清川1丁目に位置している。交通の便は良く、市内の主要道路である渡辺通り沿いに位置し、西鉄大牟田線薬院駅より300mという距離にある、店舗の業種構成は買回品、最寄品、飲食サービスが3分の1ずつを占めている。



キーパーソン  
清川サンロード商店街  
理事長  
渡邊 清久 氏

人口減少を感じていた当商店街も最近の都心回帰現象を受け、商店街の通行客自体が増加しています。併せて、近隣のホテルの外国人旅行客も増加している実感があったので、今回の施策を実施しました。ただ、音声を流すだけでは一定以上の効果は得にくいと考えておりますが、まずは音声による周知徹底を図り、そこに重ねて我々、組合員の声掛けキャンペーン等を行い、「安心、安全」な商店街の環境づくりが出来ればと思っております。

# 竹田町商店街振興組合

大分県竹田市

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：地域資源活用

ポイント：商店街の空き店舗をリノベーションして現代風な店舗にして活用

## 取組の背景

竹田市は過疎化と高齢化が進み、人口は2万3千人を切り、半数以上が65歳を超えている。城下町も20年前には3000人が住んでいたが、今は1200人を切っており、商店街も衰退の一途をたどっている。桑島孝彦氏はそんな町を活性化していきたいとの思いから、「人が集まるマチカドの再生」という意味を込めて2014年に商店街の街角にあった店舗をリノベーションして「Osteria e Bar RecaD（オステリア エ・バール・リカド）」を開業した。そして、2016年に「満ちる、溢れる、増える」という意味を持つ大分弁の「いみる」、と場所の「バ」で「イミルバ」と名付けて「イミルバプロジェクト」をスタートさせた。

## 取組の内容

居住者・移住者・旅行者等あらゆる人々の集まる交流拠点と竹田の食文化を発信していきたいとの思いから「イミルバプロジェクト」を発案。プロジェクトでは商店街の空き物件を買い取り、リノベーションを行ってゲストハウス、パン屋が一体となった複合施設を2017年にオープンした。ゲストハウス「cue」は地域おこし協力隊として移住してきた堀場夫妻が営み、1階のパン屋は20年前に隣町に移住してきて臼田夫妻が営む「かどパン」に移転してもらった。「イミルバプロジェクト」を多くの人に認知してもらうこと、また初期費用を集めることを目的にクラウドファンディングを実施して、約250万円の支援額を集めた。

## 取組の効果

「Osteria e Bar RecaD（オステリア エ・バール・リカド）」や「イミルバプロジェクト」によって、他の地域からの観光客が竹田に訪れるようになった。ゲストハウス「cue」では、外国人観光客も多く宿泊している。またこれらの取り組みがインターネット上で取り上げられ、竹田のPRにもつながった。そして、これらの様々な取り組みによって、Uターンで戻ってきた桑島氏に対する地域の中の人達からの見方や評価も変わってきて、地域内のつながりも強くなった。

### 基本データ

所在地：大分県竹田市

会員数：115名

店舗数：120店舗

関連URL：

### 商店街概要

竹田町商店街振興組合は、平成18年に古町商店街振興組合と竹田中央商店街振興組合とが合併して現在に至っている。竹田市の中心部に位置し、城下町の歴史的なたたずまいを色濃く残す地区に存在している。空き店舗を活用した健康相談所・休憩所の機能を持った「清和館」と「尚栄会」を開設するなどの活動を行っている。



キーパーソン

Osteria e Bar RecaD

オーナー

桑島 孝彦 氏

「イミルバプロジェクト」は竹田がココにしかない魅力のある町でありつづけるためのプロジェクトです。

「イミルバ」は、「たくさんのひとの出会いと想いで満ち溢れる場所になっていきますように」、「いろんな思いやそれぞれの生きがいを持った人たちが増え続ける町になっていきますように」という願いと、それに対する僕達のありったけの想いをこめて、この名前をつけました。これからも様々な取り組みを行っていき、故郷である竹田から地方の未来を変えていきたいと思えます。

# 盛岡駅前商店街

岩手県盛岡市

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：地域資源活用

## ポイント：商店街独自の地産地消認定制度

### 取組の背景

駅前という立地もあり元々にぎわいのある商店街だが、人通りの多くは盛岡駅を利用する通勤通学客である。一方で、駅前には多くのホテルが立ち並び、客室の稼働率も90%近いことから、多くの観光客が盛岡駅前で過ごしていると考えられた。

これらの潜在的な顧客を確実に商店街の顧客として取り込んでいけるよう、通過型商店街から滞留型商店街への転換を目指して、商店街の魅力を発信していくことが必要であると考え、取り組みを行うこととなった。

### 取組の内容

県内外から新たな来街者を呼び込むための取り組みとして、地産地消に焦点を当て、商店街独自の地産地消認定制度を実施。「盛岡駅前地産地消認定委員会」を立ち上げた。構成委員は、盛岡市、盛岡商工会議所、盛岡まちづくり株式会社、岩手県中小企業団体中央会などの各関係団体と、盛岡駅前商店街の理事会である。認定店の基準は①岩手県産の材料を10種類以上使っていること、②岩手県産の材料を使ったメニューが10種類以上あること、③岩手県産の飲み物が10種類以上あることの3つ。認定証を交付し、店舗の内外に認定証を飾ることで商店街としてのPRを行っている。

また、地産地消認定制度など、取り組みが飲食店に偏った取り組みが多い状態を改善するため、新たなイベントを実施。商店街で団結して顧客を取り込むため、2017年6月28日から8月30日までの毎週水曜日、「もりおか駅前開運花火」が開催され約10分間100発の花火を打ち上げた。

### 取組の効果

平成28年度地産地消認定制度で認定した8店舗の月間売上高を認定前と認定後とで比較すると、8店舗ともに3%~10%の増加となっている。認定店舗では地産地消メニューをさらに増やす動きが出ているなど、店舗の意識改革にもつながっている。

今後新たに地産地消認定制度の認可を受けた飲食店が増えることで、より地域の魅力に触れる機会が多くなることが期待される。

### 基本データ

所在地：岩手県盛岡市

会員数：50名

店舗数：60店舗

関連URL：<http://kaiun-street.com/>

### 商店街概要

昭和49年に盛岡駅前商店街振興組合として法人化。昭和57年の東北新幹線開通を前に、無電柱化と融雪機能を備えたカラー舗道工事を実施した。盛岡駅は鉄道・市内循環バス・中長距離バスのターミナルで、通勤・通学客や旅行者が多く見られる。商店街構成業種は、近年、小売業が減少し、飲食業や不動産業が増加する傾向にある。その中でも特に飲食店が占める比率は高くなっている。



キーパーソン  
盛岡駅前商店街振興  
組合 理事長  
石田 和徳 氏

昨年は夏場に毎週水曜19時から10分間打ち上げる開運花火や、冬のはしご酒イベントを実施したほか、毎週に清掃活動や花壇の整備等、他の地域との連携で活動する機会が増えました。100縁商店街等定番イベントも継続しながら活気ある商店街を維持していきたいです。盛岡は東北新幹線開業以来順調に発展しています。北東北の拠点としてますますターミナル化が進み乗降客も増えています。駅前が単なる通過点ではなく魅力のある地域として、多くのお客様に使ってもらえる街づくりに努めていきます。

# 北九州市魚町銀天街

福岡県北九州市

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：少子・高齢化

ポイント：子育てママ、パパの支援サポートセンター

## 取組の背景

1996年当時、病気の子どもを預かってくれるような制度は無かった。そこで代表の鶴田貴豊氏が自宅で病気の子どもを預かるサービスを始めたのがきっかけで同年NPO法人チャイルドケアセンターを設立。法人設立の翌年からは自宅を改装して本格的に病児・病後児保育や夜間保育の受け入れを始めた。この取り組みが評価され2011年から小倉北区にある男女共同参画センター「ムーブ」での託児室を運営するようになった。その翌年には第三セクターからの依頼で、魚町銀天街に子育て支援施設「ママトモ魚町」を開設することとなった。

## 取組の内容

「ママトモ魚町」は子育て広場のフリースペースとして開放しており、常時スタッフに子育て相談ができる。その他にも、美容院や買い物を楽しみたい時に、短時間の間子どもを預かる「一時預かり」。イベントや会議、研修時に出張して託児を行う「出張託児」。ママが講師を行い、親・子供に限らずどの世代でも参加できる「講座」を実施。またクラウドファンディングで集めた資金で、2018年の4月の完成に向けて、親子で一息つける飲食店の紹介や子育て支援企業など子育てに役立つ情報を掲載した「子育て応援マップ」の作成を行うなど、多岐にわたって子育て支援活動を実施している。

## 取組の効果

2012年の9月の開設以来、親子の居場所として定着しており、商店街でベビーカーを押す若い女性の姿が増え、通りに活気が出てくるなど街のにぎわい作りにも貢献している。近くの商店主からも、「雰囲気が明るくなった」「売り上げが伸びている」との声があがっている。今では年間約1万人の親子が訪れるようになり、託児は年間約1000件受けている。また、2016年の出張託児は昨年5倍の受注額となっており、子育て家庭の拠点として認知され利用者が増加している。また、2018年4月からは北九州市のファミリーサポートセンターが実施している、子どもを預けたい依頼会員から子どもを預かるサービスを提供する事業への参加も決定しており、子育て支援活動はより拡大している。

## 基本データ

所在地：福岡県北九州市小倉北区

会員数：150名

店舗数：150店舗

関連URL：<http://www.uomachi.or.jp/>

## 商店街概要

当商店街は、JR小倉駅の南側、南北400m、店舗数150の広域型商店街。1951年に日本で初めて公道上にアーケードを建設し、銀天街という名称の発祥の地となる。2011年には、国道199号線をまたぐジョイントアーケード（エコルーフ）を建設。2014年「がんばる商店街30選」を受賞。近年では、リノベーションスクールを中核としたリノベーションを用いたまちづくりの先進事例として知られる。



キーパーソン  
NPO法人チャイルドケア  
サポートセンター  
代表 鶴田 貴豊 氏

開設当初は商店街でほとんど親子連れの姿を見ることはなく、運営していけるのかという不安がありました。しかし、今では年間約1万人の親子が訪れるようになり多くの親子連れを見かけるようになりました。今年でママトモ魚町は開設6年目を迎え、多くのママ、パパの交流の場として成熟してきています。利用者の方のなかには子どもは1人で良いと言っていた方が施設の支援があるから、もう1人お子さんを持つことができた、というママもいらっしゃいます。今後も多くの方たちから頼っていただける支援を提供していきたいと思っています。

# させば四ヶ町商店街協同組合

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：地域交流

長崎県佐世保市

ポイント：市民とともにつくる市民参加型イベント

## 取組の背景

佐世保市は烏帽子岳、将冠岳を主峰とする2山系に挟まれているという地形の特徴から市中心部に商業施設、公共施設、病院等が集まっているコンパクトシティとなっている。なかでも切れ目のない全長約1kmのアーケード「さるくシティ4〇3」は県北地域における中心商店街の役割を果たしてきた。しかしながら、中心的な産業の造船業の不振や1996年に大型商業施設の出店計画が明らかになる。このままでは中心市街地が空洞化してしまうと危惧した若手経営者が中心となって、にぎわい創出の取組みを開始した。

## 取組の内容

今年で23年目を迎えるイルミネーションイベント「きらきらフェスティバル」は市民から一口1000円の寄付を募り市民にただ見てもらうだけではなく、イベントに主体的に関わってもらうイベントとなっている。また今年で22年目を迎える「YOSAKOIさせば祭り」は毎年県内外から多くのグループが参加する。参加者からは参加料を払ってもらい、また、広告を掲載したパンフレットを製作し販売するなど、補助金だけに頼らない市民参加型のイベントとして実施している。また、近年になり始まったイベントとしては、2012年から開催の「SASEBOまちなかマルシェ」、「GC（護衛艦カレー）1グランプリ」があり、本イベントは海上自衛隊との共催で実施している。

## 取組の効果

こうしたイベントに取り組みだしたのは1996年からで世代交代をしながら賑わいの創出を目指して実施している。「きらきらフェスティバル」等のイベントは多大な集客力を発揮しているが、これは自分の商店街が元気になるためには佐世保が元気になる必要があるとの考えから商店街だけでなく、行政、市民と一体となって取り組んできたことの効果の表れである。そのため、四ヶ町商店街の青年部は現在10名ほどではあるが、市民が積極的に関わってくれる土壌が形成されており、青年部が少なくとも規模の大きいイベントを毎年コンスタントに実施することを可能にしている。

## 基本データ

所在地：長崎県佐世保市

会員数：98名

店舗数：120店舗

関連URL：<http://yonkacho.com/>

## 商店街概要

名前の由来にもなっているとおり、させば四ヶ町商店街は4つの町からなる商店街である。また、切れ目がない直線に連なった複数の商店街のアーケードの総延長としては日本一の約1kmの長さを誇る。近年近郊に大型商業施設が出来たものの、「若者、馬鹿者、よそ者」で活気を取り戻すことを試み、様々な取組みを行っている。



四ヶ町商店街初売 1/2



キーパーソン

させば四ヶ町商店街  
協同組合

理事長 竹本 慶三 氏

佐世保には「元気気質」というものがあり、皆開放的で、物まねが得意な人が多いです。そのため何か面白そうなことがあればすぐにそれを真似て自分たちの所でもやってみようという流れになります。また、閉塞的な状況を打開する力のある「若者、馬鹿者、よそ者」を受け入れることのできる開放的な気質も持ち合わせているのです。こうした佐世保市民の気質があるからこそ、外部の人を巻き込んで何かしよう、となりイベントを始めるのですがそこで大切なのは、「お金になるか」ではなく自分たちが楽しむことができるかどうかなのです。

# 大分市府内五番街商店街

大分県大分市

商店街の類型：生活支援型

取組の観点：新陳代謝

ポイント：若手商店街役員と学生の連携で新たな魅力を創出

## 取組の背景

商店街周辺では商業施設の開業や、東九州自動車道開通等の効果により、駅周辺部の歩行者通行量は増加傾向である。しかしながら府内五番街商店街は大分駅から商店街の中では一番駅から遠く、集客力のある施設もないため、来客数は年々減少している。

そこで定型的な商店街運営から脱却しようと、平成26年の役員改選を機に30代及び40代の若手を役員に選任。これまでのイベント等の事業を見直し、若手ならではの新たな発想により、高校生や専門学校生などの若い人財を活用した新規事業に着手した。

## 取組の内容

新規事業の1つとして、若者が集う商店街を目指し、地元大分商業高校の生徒に商店街の事業提案・企画に参加してもらっている。また、大分商業高校商業調査部が「府内五番街アピるんジャー」というツイッターアカウントを作成し、イベントや個店の情報を発信している。平成29年10月28日に開催したハロウィンイベントでは、同高校商業部の販売コーナーにおいて、学生が開発した「大商饅頭」「大商ラーメン」「大商カレー」というオリジナルメニューを販売した。

その他、大分県立芸術文化短大が主催するエコフェスタでは、商店街の石畳路上においてワークショップやステージイベントを開催し、夕方からはキャンドルナイト、世界一小さな花火大会等を行った。また、府内町にある田北文化服装学院と共同でファッションショーを実施している。

## 取組の効果

高校生や短大生と連携したイベントによる集客力と、メディア露出による府内五番街商店街の宣伝効果は大きく、新たな顧客の獲得につながっている。

平成29年5月に商店街を舞台に高校生が主催した「府内GO！バイキング～まだあなたの知らない、大分の魅力～」では、大分商業高校生が13店舗にメニュー等企画し、各店舗で使えるチケット200セットを完売。高校生との定期的な意見交換が着々と実を結んでいる。

## 基本データ

所在地：大分県大分市府内町

会員数：79名

店舗数：113店舗

関連URL：<https://www.funai5.com/>

## 商店街概要

JR大分駅から徒歩5分の大分市内中心市街地に立地する商店街。平成6年にリニューアルし、アーケードを撤去。路面は石畳となり、名称も、大分駅の南側から数えて5番目の通りであることから、ニューヨークの5番街のような洗練された商業文化の発信地をイメージしてもらいたいという願いと町名の府内を取って、府内五番街と名付けられた。



キーパーソン  
府内五番街振興組合  
理事長  
安達 了剛 氏

理事長に就任して3年。それまでとは異なる新たな切り口のイベントにより府内五番街らしさを見出してきています。その一つ「府内五番街まちなかJAZZ」は、JAZZカフェの店主とお客様の提案からスタートした、五番街を象徴するイベントです。今後、様々な団体と連携を深め、まちぐるみで魅力ある商店街となるように努力していきます。また、高校生、大学生に地域活性化のための街づくりに商店街を活用して学んでもらっています。次代を担う若い人と一緒に学び、まちづくりに力を注ぎたいと考えております。

# 油津商店街

宮崎県日南市

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：構造改革

ポイント：よそ者目線を取り入れた商店街が若者が挑戦する新しいまちに

## 取組の背景

かつて宮崎県日南地区最大の市街地であった油津商店街であるが、空き店舗の増加、通行量や販売額の減少、隣市等への顧客流出など、当該商店街を取り巻く環境は厳しさを増している。課題として、魅力ある商環境・居住環境の整備や市の玄関口としての魅力形成やアクセス等が挙げられる。また、漸進的な衰退が続いてきたことにより、「商店街」として市民に認知されていないことが最も大きな課題であった。市は、中心市街地活性化事業の一環として、テナントミックスサポートマネージャーを公募し、木藤亮太氏が選ばれ、商店街の再生、市の商業活性化に向け取り組むことになった。

## 取組の内容

木藤亮太氏は2013年の就任直後から様々な取り組みを実施した。空き店舗を活用した市民の語り場「Yotten（よってん）」や空き地を活用した「油津アーケード農園」の設置や、復活が望まれていた「土曜夜市」の20年ぶりの開催などにより、市民の関心を醸成することに成功。2014年3月には、商店街再生の事業に継続性を持たせるために株式会社油津応援団を設立、当該法人が主体となって多世代交流モールを開業した。また商店街の再生を商店に絞らず、地域の課題である若者の定着を解決するという視点からIT企業の誘致も行った。商店街に若者が増えたことで、保育園が入り、また地域の学生がゲストハウスを開業するなど、様々な業態のテナントが入る商店街として商店街の活性化を行った。

## 取組の効果

2013年から任期満了となった2017年3月末まで、木藤氏が誘致に関わったテナントは29店舗に達した。商店街には人出が戻ってきた。IT企業の誘致によって、約60名の地元の若者の雇用も生まれた。商店街に若者が増えたことで、カフェなどの飲食店の利用客の増加にもつながっている。またビジネスプランコンテストで優勝した名古屋大学の学生が始めたゲストハウスの影響もあり、今では外国人観光客も訪れるようになっている。

### 基本データ

所在地：宮崎県日南市岩崎

会員数：27名

店舗数：26店舗

関連URL：<http://www.aburatsu-o.com/>

### 商店街概要

日南市は飫肥城下町や鶴戸神宮などの観光地、自然や農林水産物等の地域資源も豊富に要している。当該商店街のある中心市街地は、港とJR油津駅を結ぶ動線上に形成されており、両者からの距離は概ね1km圏内と立地に恵まれており、住居系と商業系の用途地域から形成されている。



キーパーソン

元日南市テナントミックス  
サポートマネージャー  
木藤 亮太 氏

商店街の再生を行うにあたって、従来のイメージに囚われない商店街をつくることに苦労しました。いろんな取組に理解をしてもらえるようになったのは、家族も一緒に移住をして、油津に住んだこと。油津の方々と何度も話し合ったこと。また油津応援団の設立でリスクを背負ったことなどの結果だと思います。商店街そのものの課題ではなく地域の課題を解決しようとしたところが結果として成功につながったポイントではないかと思います。商店街のお店や地域の世代交代が進み、地域が100%自走できるようなエコシステムの構築を目指して頑張っています。

# 泉町二丁目商店街

茨城県水戸市

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：構造改革

ポイント：地域住民とともに醸す「まちなかワイン」

## 取組の背景

当商店街では、15年以上前から定期的に「ファーマーズ・マーケット@みと」を開催している。加えて茨城県は農業産出額が全国2位ということから「食」をテーマに新たな取組を考えていた。そのタイミングで日本にワイナリーブームが到来しており、テーマでもある「食」に合致した。そうした経緯から商店街内でワイナリーを始めることとなった。

## 取組の内容

商店街の有志を集めて2015年に商店街の活動の拠点である泉町会館にマイクロワイナリー「ドメーヌ水戸」を設立。仕込み、製造、瓶詰を全て泉町会館内で行う。

ワイナリーでは1口1万円でぶどうの栽培・収穫から醸造を体験しながら支援できる「ひとくちオーナー制度」の導入や、「水戸まちなかフェス」などへの参加で、地域の人々を楽しませている。また、8月から9月の毎週日曜日はワイン醸造体験会を実施している。醸造体験よりもさらに一步踏み込んだ体験ができるワインツーリズムを2016年から実施している。これは収穫体験と醸造体験を行うもので、2016年に1回、2017年に6回開催し、よりワインに触れてもらう機会を提供している。さらに地元企業、大学と連携し、学生のインターシップの受け入れや、プライベートブランドの共同開発を行っている。

## 取組の効果

水戸市初のワイナリーということもあり新聞等各社マスコミに掲載され、話題作りだけでなく、商店街にも目を向けてもらえる機会が増えた。また、これまで商店街を訪れることの無かった来街者層がワイナリーを目的に来街するようになった。そうした新たな来街者のなかには当ワイナリーで開かれる勉強会に参加するために訪れるワイン関係者が含まれ、それまではなかったワイン関係者のコミュニティが形成されている。また、ひとくちオーナー制度のオーナーのなかには子どもを連れて何度も来街する人もおり、良い関係性が構築されている。

### 基本データ

所在地：茨城県水戸市泉町二丁目  
 会員数：45名  
 店舗数：45店舗  
 関連URL：<http://www.izumi2.com>  
 : <http://domaine-mito.jp>

### 商店街概要

水戸駅の北西約1.2kmに位置する、水戸市を代表する商店街の1つ。近隣には、百貨店などを含む大型商業施設や水戸芸術館がある。近隣の生産農家の協力の元「泉町会館」において「ファーマーズ・マーケット」を継続的に開催するなど、様々な活動を行っている。



キーパーソン  
 Domaine MITO株式会社  
 代表取締役社長  
 宮本 紘太郎 氏

街のシンボルである「泉町会館」を利用していることもあり、多くの方の関心を集めています。街の求心力という点で貢献できているのではないかと思います。今は同世代が中心に動いている状態なので、シニア層から若年層、さらには学生たちにも参加していただくことが、次の課題です。もちろん、ワイン醸造所単体ではなく、商店街としての対応が必要です。さらに、地域の方々への浸透を図ると同時に、他地域からいらっしゃる方々にどのように愉しんでいただけるのかも含めて、商店街やまちのみなさんと相談していきたいと思っています。

ポイント：日本文化を体験・体感してもらうための商店街

## 取組の背景

当商店街は松本城など近隣に観光地が多いものの、外国人旅行者を十分に誘客できていなかった。また回遊性や、店同士や近隣商店街との連携、情報共やメディアへの対応も不十分でタイムリーな情報発信ができていなかった。こうした現状を改善するため、商店街内外の連携、情報共有の強化やメディア活用に取り組むと共に本格的なインバウンド対策の見直しを行うこととなった。

## 取組の内容

外国人旅行者のために英語版の商店街ガイドマップ、店頭サインの作成、ポスターの配布、設置依頼、SNS発信などを若手組合員25名からなる「なかまち活性化委員会」で実施した。

また、外国人観光客が日本文化を気軽に体験・体感できるイベント「中町・日本文化体験デー」では、明治時代に建てられた造り酒屋を再利用した蔵シック館を利用。蔵シック館ではお点前、書道、等5つの体験を、イベントに参加した10店舗では各店舗の特徴を生かした、日本茶サービス、三味線体験等10の体験の場を設けた。参加した外国人観光客に折り紙付きアンケートに答えてもらい、商店街オリジナルのマスキングテープを記念品として進呈した。昔遊び体験では、購入希望者には取扱店を教えたことで、購入にもつながった。また、イベントでは松本県ヶ丘高校英語科の生徒40名が、本イベントと連携。イベントの事前準備、外国人観光客の体験体感プログラムの運営補助作業やアンケート記載時の支援を行った。

## 取組の効果

「中町・日本文化体験デー」は、平成29年9月6日（水）と9月23日（土）に開催したが、外国人観光客の参加目標計150名に対し、結果は延べ人数計629名であった。また、体験参加者に対して行った満足度調査では、外国人回答者138名のうち全員が「体験プログラムに満足した」と回答した。

また、今回の取組により、外国人観光客の来街促進、メディアへの露出向上、国籍問わずの老若男女の交流が生まれるとともに、地元住民や学生からのボランティア参加の申し出などもあり、地域交流に貢献することができた。

## 基本データ

所在地：長野県松本市

会員数：127名

店舗数：120店舗

関連URL：<http://nakamachi-street.com/>

## 商店街概要

中町通りは西から東へ抜ける北国街道西街道沿いであり、主に酒造業や呉服などの問屋が集まり繁盛してきた。江戸末期や明治の大火に見舞われ主要な施設が多数失われた。再三にわたる火災から守るため、商人たちの知恵で「なまこ壁の土蔵」が造られ、その白と黒との簡潔なデザインの土蔵造りの家が中町付近には今なお多く残る。



キーパーソン

中町商店街振興組合

なかまち活性化委員会

委員長 花岡 由梨 氏

課題であったコミュニケーションの強化も、当イベントで商店街内外の多くの方や団体にご協力いただいたことで改善の兆しが見えてきました。また、協力頂いた他団体の方から、また一緒に！など言っていただき励みになりました。さらに、意見が出ても流れてしまう委員会を4つの班にわけ、班長を設けることで、具体的な活動ができるようになりました。イベント開催時など短時間でも協力を要請し、活発に参加をしてくれる人も増えてきたので、今後も楽しく活動をして共有できる仲間を増やしていきたいです。

# 戸越銀座商店街

東京都品川区

商店街の類型：エリア価値向上型

取組の観点：外国人対応

ポイント：マナー向上推進に向けた「3本の矢」

## 取組の背景

当商店街は約300件の店舗が軒を連ねる商店街。近年では「戸越銀座コロッケ」が名物となり、食べ歩きの街として認知され、食べ歩きを目的とした観光客も来るようになった。また、2020年の東京オリンピックに向けて訪日観光客が増加し来街者の増加が見込まれる。そのため多くの人に心地よく、楽しい時間を過ごしてもらえる取組を行うことになった。

## 取組の内容

2017年に商店街総合案内所「ほっとスポット 戸越銀座」がオープン。ここをマナー向上の拠点に商店街でのマナー向上を目指す「3本の矢」を策定した。第1の矢は、食べ歩きのマナーの向上を促す「とごし食べ歩きキット」の貸し出し。第2の矢は、歩きスマホの防止を促し、コロッケ1個と引き換えができる「歩きコロッケカード」。第3の矢はグッドマナーで「日本一住みやすい街」を目指す戸越銀座をより体験できるように、商店街周辺の民泊を活用してもらおうもの。商店街近辺の民泊を活用してもらうことで、食事や風呂などの寝泊り以外のモノコトは、すべて商店街をフルに活用することで商店街を楽しんでもらおうという狙いがある。2020年の東京オリンピックに向けて近隣の民泊業者と連携の強化を図っている。

## 取組の効果

グッドマナープロジェクトを行うにあたり組織の合意形成や、一般社団法人グッドマナープロジェクトチームとの実際に行うべきマナー向上策を創案することには、多大な労力を要した。しかし、商店街がインバウンドを行う際にキーワードをマナーにおいたことで多言語化に固執せずに、外国人に限定することなく都市型観光を提案できたため、地域や組合員からも歓迎された。2020年に向けたインバウンド対策や都市型観光商店街の実現とともに、組合員や地域住民が地域資源としての商店街を有効に活用していけるよう、商店街関係者が一丸となってサポートする体制が整いつつある。

### 基本データ

所在地：東京都品川区

会員数：350名

店舗数：330店舗

関連URL：<http://www.togoshiginza.jp/>

### 商店街概要

戸越銀座商店街は、東急池上線の「戸越銀座駅」に接する、全長約1.3kmにわたる関東有数の長さを誇り、約300件の店舗が軒を連ねる地域密着型の商店街。近年では「戸越銀座コロッケ」を名物に「食べ歩きの街」「下町グルメの聖地」などとも呼ばれ、旅行会社による商店街ツアーが組まれるなど、観光を目的とした来街者も急増している。



# 京都錦市場商店街振興組合

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：地域資源活用

京都府京都市中京区

ポイント：「京の台所」として京の食文化を発信し続ける

## 取組の背景

錦市場では「錦ブランド」を大切に守り続けてきたが、一方で環境の変化にさらされて、店によって「錦ブランド」を守る意識にも違いがみられるようになってきた。「錦」の名前だけを使って他の地域で商売をしているお店もある。そういった事情もあり、品質を維持するためにも京都府内の商店街で初めて「錦市場」の商標登録を取得に至った。その他にも、後世に錦らしさを継承するために錦の文化を発信する拠点が必要であるという思いから「京都錦市場 斗米庵」をオープンすることになった。

## 取組の内容

食にこだわる「錦らしさ」に共感し、伝統を守り育てていこうとする経営理念をもつ出店希望者を募集して、商店街振興組合が出店希望者と家主との仲介を行っている。他地域で「錦市場」を銘打つ店が増えたことで、品質を維持するために「錦市場」、「京の台所錦」の商標登録を取得した。2018年3月には錦市場に文化発信拠点「京都錦市場 斗米庵」をオープン予定。市場を巡りながら食材を仕入れ、懐石料理に調理してもらって味わえる施設。

「市場体験」を大切にしており、ツアーの参加者が店主との会話を楽しみながら食材を購入し、仕入れたばかりの食材を料理人に懐石料理に仕立ててもらい、斗米庵で本格的な錦の味を味わえるようになっている。

## 取組の効果

「錦ブランド」を守るために商店街振興組合がテナントの仲介を行う事業によって、空き店舗が出た時も「錦らしさ」にふさわしい店舗の新規出店ができるようになり、「錦らしさ」を守り続けられている。また「錦市場」、「京の台所錦」の商標登録の取得を行ったことで、錦市場の商店街関係者がさらに「錦ブランド」を大切にし、京都錦市場振興組合の組合員内での「錦ブランド」として意識の再醸成にもつながっている。「京都錦市場 斗米庵」をオープンすることになったことで、京の食文化を守っている「錦らしさ」を京都市内外の多くの方に体感してもらえるようになった。

### 基本データ

所在地：京都市中京区錦小路通

会員数：131名

店舗数：126店舗

関連URL：<http://www.kyoto-nishiki.or.jp/>

### 商店街概要

錦市場は、京都市中京区のほぼ中央に位置する錦小路通のうち、「寺町通 - 高倉通」間に存在する広域型商店街で約400mのアーケード街。豊富な地下水を利用し京都御所への新鮮な魚を納める店が平安時代に集まり始めたものがきっかけだと言われている。正式に「錦市場」が始まったのは江戸初期の1615年で、今では400年の歴史を持つ商店街として京の食文化を支えている。そのため、錦市場には100年以上続いているお店も多く「錦ブランド」、「錦らしさ」を大切にしている商店街である。



キーパーソン  
京都錦市場商店街  
振興組合 理事長  
宇津 克美 氏

ブランドを守り続け、そして発展させていくためには「不易流行」の精神が大切です。「不易流行」の精神で変えてはいけない理念は変えず、変えるべきところは変えて、絶えず時代の流行に合わせて商いを行っていかないといけないと思っております。「錦ブランド」を守り続けるためにも「京の台所」として食にこだわりをもって商いを行っていく必要があります。錦市場は京都の食文化を大切にしながら、錦市場が先頭に立ってさらに新しい取り組みを進めていき、これからも常に新しい魅力を生み出し、京都の文化と食文化を発信し続けていきます。

# 川口商店街

徳島県三好市

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：地域資源活用

ポイント：地域に伝わる狸の伝承を活用した地域おこし

## 取組の背景

当商店街が位置する三好市は児啼爺(こなきじい)発祥の地として知られる。また狸にまつわる民話が多く残っており、汽車に化けたとされる「汽車狸」や悪い狸を懲らしめる狸の妖怪「青木藤太郎」など様々な狸の言い伝えが残る。2017年には狸の言い伝えや体験談約70編をまとめた冊子も発行した。こうした狸にまつわる言い伝えを活用してまちを活性化させようということから2015年に「やましろ狸な会」が結成。狸をまちのキャラクターとして取り組みを行うこととなった。

## 取組の内容

2015年からやましろ狸まつりを実施している。17体の手作りの狸の着ぐるみがまちなかを練り歩いたり、当日のみ使える葉っぱのお金を発行したりしている。

この祭りで地元で盛り上がりが出てきていることから、商店街最寄駅の阿波川口駅はJR四国が運行する観光列車「四国まんなか千年ものがたり」の停車駅ではなかったが、現在15分停車している。この観光列車の停車に合わせて毎週金曜～月曜日、駅前で「ぽんぽこ商店」を開いている。この商店では干しシイタケや柚子酢、手作りの小物などを販売する。また、狸の妖怪のかぶりもの姿で乗客と記念撮影するなどの「お接待」を行っている。また住民からの提案でJR阿波川口駅の駅舎の屋根にやましろ狸な会自作の狸のオブジェを設置した。

## 取組の効果

JRとの交渉を会のメンバーのみで成立させたことから、自分たちが積極的に働きかければ周囲を巻き込んでいけるといふメンバーの大きな自信につながった。そうした会の士気の高まりに触発され、メンバーに若者が徐々に入ってきている。さらに2016年7月からは徳島大学の「にしあわ英語旅」プロジェクトが始動。外国人講師を招きおもてなしについてのワークショップを行っている。このように会の積極的な活動に触発され地域内外の連携体制が拡大しつつある。

### 基本データ

所在地：徳島県三好市山城町  
 会員数：11名  
 店舗数：15店舗  
 関連URL：  
<https://ja-jp.facebook.com/tanuki80/>

### 商店街概要

当商店街は日本3大奇橋の祖谷のかずら橋や絶景で有名な大歩危峡から10km程下流に下った、JR阿波川口駅の近くに位置する。自然豊かな地域で夏にはラフティング客が商店街を多く訪れる。また近年、海外メディアが日本の見べき風景として祖谷地域を取り上げたことから外国人旅行客が急増している。



キーパーソン  
 やましろ狸な会  
 会長  
 大野 昌彦 氏

やましろ狸な会はやりたい人たちで楽しくゆるくやっ行ってこうというスタンスで取り組んでいます。そのため皆大変だと感じることは少ないです。商店街最寄りのJR阿波川口駅へのオブジェの設置は会のメンバーのみで交渉から製作、設置まで全てを行いました。交渉が上手く進んだのはそういったスタンスで取り組んでいるからかもしれません。周辺には海外でも有名になっているかずら橋や大歩危があり、多くの観光客でにぎわっています。現在は旅行客に泊まっていただけのような環境を整備しているところです。

# 豊後高田市昭和の町

大分県豊後高田市

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：少子・高齢化

ポイント：行政・商工会議所・商業者・案内人が一体でつくる「昭和の町」

## 取組の背景

豊後高田市は江戸時代から海上運輸の要所で、昭和30年代までは国東半島で一番栄えた町だった。しかし、徐々に時代に取り残され衰退していった。このままでは衰退の一途をたどってしまうという危機感から、商店街の実態を把握する調査を行った。すると建物の7割が昭和30年代以前に建てられたもので、多くの店舗が看板を少し手直しすれば「昭和の店」になることが分かった。そこで最も商店街が元気だった昭和30年代の活気を復活させようと、平成13年から「昭和の町」を立ち上げることとなった。

## 取組の内容

始めに各商店の看板を撤去し以前使用していた看板を露わにしたり、補修することで昭和の雰囲気再現。次に各店舗に伝わる珍しい宝物を一店一宝として展示。町を知り尽くした案内人が昭和の町の歴史や各店の一宝について方言を用いて案内するのも魅力のうちの一つ。案内人は町とともに歳を重ねた高齢者が主に活躍している。また、昭和の商品再生として、その店自慢の商品販売を実施し昭和から変わらないおもてなしを味わってもらう工夫を凝らした。さらに、商店街に隣接する米蔵を改修し、「昭和ロマン蔵」として整備。5万点を超える古いおもちゃを展示する「駄菓子屋の夢博物館」をオープンした。2018年で14回目を迎える「昭和の町レトロカー大集合」では、昭和30年代から60年代のレトロな名車が一同に集まる。また、4月の昭和の日には昭和にちなんだ様々なイベントが行われる。

## 取組の効果

平成13年度から平成24年度の期間における、「昭和の町」に関連する事業費を算出するために豊後高田市独自の産業関連表を作成。この産業関連表の作成にあたって、施設整備事業に伴う建設費用、中心市街地で行われた「昭和の町」をテーマとするイベント開催に伴う運営費用、来街者の消費支出額の3つの要素の合計額を新たに発生した需要額ととらえ、波及効果を計算した。その結果、91億円の経済波及効果が確認された。また、昭和の町で平成26年度から5店舗が新たに創業しており町に賑わいが生まれている。

### 基本データ

所在地：大分県豊後高田市中心市街地  
 会員数：120名  
 店舗数：  
 関連URL：  
<https://www.showanomachi.com/>

### 商店街概要

当商店街は大分県北部の国東半島の北西部に位置し、周防灘に面している。大分市まで約60km、北九州市まで約90kmで両市に比較的近い距離にあり、生活面、文化面等では中津市・宇佐市・福岡県豊前市との関係が深い。経済的に中津市を中心とする小規模経済圏の中津都市圏に属する。



ポイント：水辺の商店街「なわて通り」がカエルで溢れる！

## 取組の背景

かつて祭事の度に露店が並び活気があふれており、その傍を流れる女鳥羽川のほとりで「カジカガエル」が美しい鳴き声を奏で、道行く人を楽しませる風情のある通りだった。しかし、いつの頃からか川が汚れてカエルはいなくなり、通りは活気を失っていった。昭和46年にナワテ通り商業組合が設立し、女鳥羽川を綺麗にして再びカジカガエルが棲めるようにすることで商店街に活気を取り戻そうと組合員たちが決意。翌年には通りにカエルをご神体とした「カエル大明神」を祀った。平成13年、なわて通りは再開発を経て現在の長屋風の街並みに生まれ変わると同時に、商店街、市民、地元の大学の学生が連携して「なわて通りで遊ぼうよ！プロジェクト」が立ち上がった。発起人の日々努力しなければ、商店街はまた廃れる」との危機感から地域を巻き込んだプロジェクトは始まることとなった。

## 取組の内容

カエルを掘り起こすことで先人の想いを今に蘇らせようと、「かえるまつり」が平成14年から開催されている。通りはカエルのグッズで溢れ、カエルをモチーフした雑貨などをつくる作家たちが全国から集まり屋台を並べる。商店街の各店舗も競い合うかのようにカエル関連の商品を店先に展示。「カエル大明神神事」、「青空カエル文化講座」、「ケロウィン」（子どもたちによるカエルの仮装イベント）といった催しが次々に行われる。また、松本は水が綺麗なことでも有名で、ナワテ通りにある四柱神社前においしい水が飲める井戸を今年の1月に整備した。

## 取組の効果

過去16回実施し、県内だけではなく、全国からカエル愛好家が訪れるイベントに成長している。この祭りの運営で重要な役割を担う地元の大学生たちは「ケロウィン」などの催しを実行する他、通りの装飾やワークショップなどの企画・運営、受付など多くの役割をこなす。卒業後も有志OBとして遠方より駆けつけ、祭りをバックアップする者もいる。また、近年海外旅行客にも松本城の近くということもあり認知され始め、多くの海外旅行客も商店街を訪れるようになった。そのため、2017年12月から商店街内にフリーWiFiを設置した。

### 基本データ

所在地：長野県松本市大手  
会員数：30名  
店舗数：28店舗  
関連URL：<http://www.nawate.net/>

### 商店街概要

松本城の近くを流れる女鳥羽川の川沿い300メートル程の細道を挟んで、約40軒の店舗が江戸時代の長屋風に並ぶなわて通り商店街は明治12年に建立された四柱神社の参道として発展。平成13年、なわて通りは再開発を経て露店から長屋風の街並みに。2016年1月より商店街内が24時間歩行者天国になっている。



ポイント：新たな地域の魅力をPRし若者世代との役割分担で商店街を活性化

## 取組の背景

かつては地域住民を中心に栄えた商店街だったが、国道57号線沿の大型店進出により、客足は遠のきつつあった。また、隣接する阿蘇神社には年間25万人の観光客が来ていたにもかかわらず、商店街では観光客向けの対応を行っておらず、一時は地元新聞に「消えゆく灯」と題して掲載されるまで衰退していた。

平成13年に、商店の2代目を中心に「若きゃもん会」が結成。まずは、自分たちが子どもの頃、賑わう商店街の象徴的な風景として記憶に残っている夏のお祭り「金曜夜市」を復活させることを目標に取り組みを始めることとなった。2016年に商店街が一般社団法人化し、現在は協会として活動を行うことになった。

## 取組の内容

かつてのにぎわいを取り戻すべく「金曜夜市」を再開し活性化させよう会議を重ね豪華景品が当たる抽選会を開催。商店街への来訪が目的だったことから、当日抽選で会場内に当選者がいない場合は再抽選を行うこととした。この抽選のやり方を事前に周知していたことから、夜市会場には入りきれないほどの来場者が来た。

また、桜の満開にあわせて商店街の通りに畳200畳を敷き詰めた「お座敷商店街」を開催するなど、新しいイベントも開催。さらに、観光客に少しでも滞在してもらうため、熊本特産の馬肉を使用したコロケ「馬ロケ」、拳ほどの大きさの田舎いなり、水基の設置、湧き水を使った水出しコーヒーやシェーククリームなどの地域性を活かしたオリジナル商品の開発も実施している。

## 取組の効果

親世代と子世代の意思疎通や役割分担が奏功し、その土地ならではの逸品が楽しめる商店と、地域資源を活用した水基巡りがマスコミに取り上げられるようになり、この10年間ほどで来街者が年間35万人にまで急増している。

また、熊本地震発生時には、直後から周辺住民の安全確認や電気が復旧するまでの約1週間炊き出しを実施。地域コミュニティの下支えとして震災復興に大きく貢献した。

### 基本データ

所在地：熊本県阿蘇市一の宮町  
 会員数：44名  
 店舗数：36店舗  
 関連URL：<https://www.facebook.com/aso.monzenmachi.syotengai>

### 商店街概要

阿蘇神社の参道は全国的にも珍しい横参道で、阿蘇門前町商店街はその南北に発達してきたが国道57号線沿線の大型店の進出により厳しい状況に。しかし、商店の2代目を中心に「若きゃもん会」が結成され、多くの観光客を獲得することに成功。震災後に（一社）阿蘇門前町商店街振興協会と法人化し、活性化に向け取り組んでいる。



キーパーソン  
 一般社団法人阿蘇  
 門前町商店街振興協会  
 理事  
 岩永 芳幸 氏

— 昨年の熊本地震を受け、現在も厳しい環境に置かれていますが、地震を受けたことにより気付かされた面もあります。地域のコミュニティは大切に、先代からのつながりがあったからこそ震災後からすぐに様々な活動ができました。また、阿蘇神社のお陰で大きな被害がなかった事です。その阿蘇神社のお膝元で商いをさせて頂けている事への誇りと感謝の気持ちを日々感じています。阿蘇神社の再建にはまだまだ時間がかかりますが、商店街として門前町を盛り上げていき、様々な活動を通して元気な阿蘇を発信していきます。

# 氷見市中央町商店街

富山県氷見市

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：新陳代謝

ポイント：パリの街並みに見立てたおしゃれなマルシェを開催

## 取組の背景

当商店街には1970年ごろに建てられた8棟の共同防災ビル群がある。建設から50年近く経つものの、ビルは複数の地権者によって所有されているため、単独で解体や修繕などの処置が行えず老朽化が目立つ。最近では商店街北側の橋の老朽化に伴う架け替え工事も影響し客足はさらに遠のいており、また商店主の高齢化も進行している。これらの状況を打開するために新たな商店街の担い手となる若者を商店街に引き込もうと、商店街のビル群をパリのアパートマンに見立てマルシェを開催。

## 取組の内容

古くて暗い印象の共同防災ビル群をパリのアパートマン（フランス語で集合住宅）に見立てることで、パリのおしゃれな街並みというイメージの刷新を計画。カラフルなテントや家具職人に制作を依頼したモバイル屋台で出店を依頼した店舗に商品の販売を行ってもらい、通りにはベンチや人工芝を設置するなどして、本場さながらの雰囲気を作り上げた。また、マルシェ開催にあたり既存来街層以外の誘客・街の新しいイメージ作りなど、新しい層に向けた情報発信機能として、「海風ブラザーズのアパート通信」というホームページを作成した。愛嬌のあるキャラクターを登場させ商店街やイベントについて紹介している。

そうした準備の下、2017年の7月にマルシェを初開催し、その後ほぼ月に1回のペースで11月まで開催することになった。

## 取組の効果

2017年の7月に開催した第1回のマルシェでは18店舗が出店し、約2000人が来場した。当日行ったアンケートによるとその日の来場者のうち過半数が県内を中心とした市外からの来場者で当初狙っていた既存客以外の集客に成功。また、来場者全体の7割を20～40代が占めており、新たな商店街の担い手となりうる世代に来場してもらい、商店街の新たなイメージを感じてもらえることが出来た。その後も月に1回のペースでマルシェを開催し、11月に開催した第5回では35店舗が出店している。また、少しずつ商店街での開業希望者も現れてきている。

## 基本データ

所在地：富山県氷見市中央町

会員数：25名

店舗数：25店舗

関連URL：

<http://uminoaparutomarche.strikingly.com>

## 商店街概要

富山県氷見市の漁港近くにある商店街。1970年頃に現在のビル群が完成。複数の世帯・店舗が共同でひとつのビルを建て、そのファサードはつながっている。現在中央町にはそうしたビルが8つ存在している。また、平成28年10月からは商店街北側の橋の架け替え工事が約2年の工期で始まっている。



キーパーソン  
地域おこし協力隊  
藤田 智彦 氏

地域おこし協力隊として商店街の活性化に関わったのですが、当商店街では外からの発想を重んじて自由に進めさせてもらえて、コアなターゲットを狙い撃ちにするコンセプト設計ができました。デザインや店舗セレクトなどは徹底的にこだわりつつ、地元商店街や地域との乖離を起こさないよう配慮することが一番苦労した点です。準備期間中から、対外的な情報発信の裏で地道に地域と話し合いを重ね、次第に地域の方にも楽しみにしてもらえるイベントとなりました。少しずつ現れた開業希望者をどう商店街に着地・定着させていくかが今後の課題です。

# 沖縄市センター商店街振興組合

(中央パークアベニュー)

沖縄県沖縄市

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：構造改革

ポイント：商店街の空き店舗を沖縄・コザの魅力を感じるホテルに

## 取組の背景

商店街にはかつて営業していた店舗の備品が置いたままで、長期間空き店舗となっている店舗があった。新たなテナントに入居してもらうために店舗内の備品等の処分も含めて改修をすると、多額の費用が掛かってしまう状況にあった。そうした店舗をどうしたらいいのか長年商店街振興組合は悩んでいた。

そこに、観光フリーペーパーの発行や広告事業などを手掛けている「ファンファーレ・ジャパン」が2016年度から宿泊業に参入。同社社長の島袋氏は『これから観光客1000万人時代が到来すると、確実に売れる商品は宿泊である。』と考え、商店街内の空き店舗をかつての面影を残した形でホテルに改装することを提案。これを商店街が了承し、取り組むこととなった。

## 取組の内容

空き店舗を利用した部屋は現在、3室。2018年4月頃には2部屋もオープンする。地元の商店街組合や沖縄銀行とも連携し、5年以内に10～20室に増やす計画となっている。部屋の魅力は前店舗の面影を残す造りと3室それぞれの間取りやコンセプトが異なっている。もともとヘアサロンやバー、キャバレーだった店舗を改装したものとなっている。ヘアサロンだった部屋には髪を洗う洗面台跡を残したり、バーだった部屋には80年代に描かれた壁画がそのまま残っているのが特徴となっている。

## 取組の効果

同社が運営する「トリップショットホテルズ・コザ」の稼働率は70%ほどで、現在の3部屋を5年以内に20部屋に増やす計画。長年シャッターが下りていた店舗も、宿泊業を始めることで、家主に家賃収入が生まれた。今後は事業主も募り、部屋の増加を目指している。また空き店舗をリノベーションし宿泊施設として再活用がきっかけになり、若手が飲食店などを出店している。また、周辺の飲食店では外国人観光客向けのメニューや案内意識向上の兆しが見えはじめており、ホスピタリティー向上の機運が高まり始めている。

### 基本データ

所在地：沖縄県沖縄市中央

会員数：42名

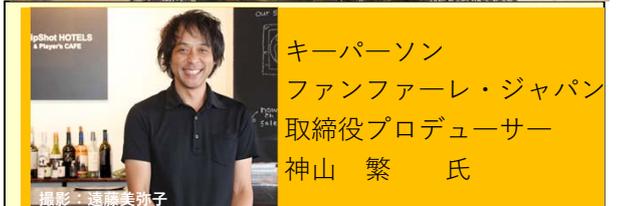
店舗数：99店舗

関連URL：

<https://www.facebook.com/cyuouparkavenue>

### 商店街概要

1950年の開設からしばらくすると商店街の風紀が乱れて北きた。そのため沖縄市主導で1982年に日本人向けのショッピングモール・中央パークアベニューへと生まれ変わった。このときヤシの街路樹と白い屋根の連なる姿の美しさが話題となり、1987年には建設省（現・国土交通省）から手作り郷土賞を受ける。



キーパーソン

ファンファーレ・ジャパン

取締役プロデューサー

神山 繁 氏

沖縄市の中心市街地「コザ」。かつての賑わいはなくなりましたが、今でも日本の文化とアメリカの文化が混ざり合った独特な景観、文化が残っています。また、宿泊施設においては、かつての面影をできる限り生かす様に努め、宿泊施設自体が、歴史と今をつなぐ架け橋の様な場所になるように思いを込めています。そうした文化的な活性化も軸に、ここでしか体験できない旅を提案し国内外の観光客を増やしていきたいです。今後は客室を増やし、観光を軸に飲食店、地元アーティストなどと連携を図り「絵になる沖縄」として、味のある個性的な商店街を目指します。

# 豎町商店街

石川県金沢市

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：外国人対応

ポイント：世界最長のデジタル掛け軸 イベント「豎町Color load」

## 取組の背景

豎町商店街の魅力の向上、および空洞化している金沢市中心部の商店街利用客の増加を目的とした戦略事業として金沢工業大学や、世界的なデジタルアーティストと連携しイベントを行うこととなった。そのイベントは秋の金沢の夜を彩る「世界最長のデジタルアート」と題して開催することになった。また、県内外に積極的に豎町商店街と金沢市中心部の広告宣伝・PRを実施するため市民参加型の活動・展示を併せて行うこととなった。

## 取組の内容

2017年10月、世界最長のデジタル掛け軸を題材にした市民参加型のイベント「豎町Color load」を初開催。430mあるメインストリートに、多数のプロジェクターから100万枚に及ぶデジタル映像をコンピューターにアランダムに組み合わせ、偶然に出来た映像を映し出すというもので地元小松市出身で国際的なデジタルアーティスト・長谷川章氏がプロデューサーを務めた。

当商店街が仕掛ける430mのデジタル掛け軸の幻想的な空間の中で、高級車の展示やダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられた。「豎町・光のこども大行進」「豎町Color loadを彩るイベント」「豎町Color loadフォトコンテスト」など3日間異なる様々なイベント企画が行われた。

## 取組の効果

10月7日～10月9日の3日間の総来場者数は約3万3千人となっており、来場者アンケートで来年も開催して欲しいとの声は実に9割以上で満足度の高いイベントとなった。また、イベントに参加するため久しぶりに商店街を訪れたとの声も多数あり、商店街を来訪してもらえるきっかけとなった。さらに、県内外に積極的に広告宣伝・PRを実施することで空洞化している金沢市中心部の商店街利用を増加させる効果も確認されている。イベント開始前後での新聞掲載件数は12件、TV番組で取り上げられた件数は10件となっており多数のメディアに取り上げられた。

### 基本データ

所在地：石川県金沢市豎町

会員数：120名

店舗数：176店舗

関連URL：<http://www.tatemachi.com/>

### 商店街概要

1963年設立。金沢市内の中心商業が集積した香林坊・片町地区内に形成される5つの商店街の南端に位置し、南北に延びるほぼ直線約430mの市道の両側に店を構える。通りには、アパレル店舗を中心にジュエリーショップ、コスメショップ、美容室、雑貨・インテリア、カフェ、呉服店、ブライダルショップなど多彩なショップが立ち並ぶ。



# 千日前道具屋筋商店街

大阪府大阪市

商店街の類型：観光型（外需獲得型）

取組の観点：地域資源活用

ポイント：外国人向けに大阪弁の学習帳を製作

## 取組の背景

企画やデザインの仕事をやっている中で商店街に密着した企画をいろいろとしていた。5年ほど前から大阪にインバウンドの観光客が増えてきて、千日前道具屋筋商店街の多言語対応の地図を作成することになった。それをきっかけにインバウンド対応の動きが活発になってきた。そういった動きの中の一つとして、「店舗などで外国人旅行客が大阪弁を使ってくれたら、受け入れる側との心の距離が縮まり、より大阪らしい観光を楽しんでもらえるのでは」という牧氏の発案で外国人向けの大阪弁の学習帳を作成し、千日前道具屋筋商店街などの商店街で販売することになった。

## 取組の内容

大阪弁を使う場面をイラストで視覚的にも分かりやすく紹介している外国人向けの学習帳を制作し、外国人観光客向けに販売。外国人観光客が好んで持ち帰っているほか、日本人の観光客のお土産にもなっている。その他、商店街の特徴（調理道具を販売している）と地域の文化（たこ焼き）に着目し、外国人観光客が商店街で道具、材料を購入し、自由な視点からたこ焼きを作る取り組みを行っている。スイスホテル南海大阪の支配人が宿泊客を対象に街歩きで商店街を案内して、ガイドマップには載っていないお店を紹介する「難波イブニングウォーク」も行っている。

## 取組の効果

オオサカ学習帳をはじめとする数々の取り組みが多くメディアに取り上げられ、商店街のPRにつながった。千日前道具屋筋商店街の特徴を活かした取り組みをはじめ、商店街全体でインバウンド向けの取り組みが強化された。また単独ではなく他の商店街との連携、企業との連携なども進んでいき、地域全体のインバウンドへのおもてなしの体制ができてきた。そういった数々の取り組みによって、オオサカ学習帳を使ってお店の店主と外国人観光客との大阪弁での交流が生まれるなど、ここでしか味わえない印象的な体験ができるようになった。このような結果商店街へのインバウンドの観光客数も年々増加している。

### 基本データ

所在地：大阪府大阪市中央区

会員数：59名

店舗数：62店舗

関連URL：<https://www.doguyasuji.or.jp/>

### 商店街概要

千日前道具屋筋商店街は、料理道具・厨房道具のすべてが揃う専門店が軒を連ねる商店街。もとは、法善寺の千日前から四天王寺のお大師や今宮戎神社への参道として、古道具屋や雑貨商が軒を連ねたのが始まり。大正時代から次第に問屋・製造業の専門店として発展し、1970年には、アーケードが建ち、現在の全長150mの商店街へ。



キーパーソン

(株)リンクコーポレーション  
社長  
牧 香代子 氏

故郷に近い町でまちおこしがしたいというところから始まって、難波の商店街に関わるようになりました。それから難波でいろんな方にお会いして、どんどん難波が好きになってきて今に至っています。商店街は本当におもしろい文化だと思っています。商店街だけでなくまちのみんなと一緒に何かが取り組むことが大切で、インバウンドはその1つの切り口だと思います。私はこれからもこの難波からおもしろいことをどんどん仕掛けて、「世界一おもしろいまち難波」として世界に売り込み、「世界の難波」にしていきたいと思っています。